

# 会 告

## 第47回通常総会および第16回年次学術講演会予告

名 古 屋 市



講演申込締切は 2 月 20 日、前刷原稿の締切は 3 月 15 日でありますので至急所属支部へお申込み下さい（関東地区は本部）。例年よりそれぞれ 20 日ほど早目になっておりますが、準備の都合上やむを得ない措置として御諒承下さい。総会および講演会の参加者は年々ふえ、まことに喜ばしいことですが、本年も多数御参加下さいますよう御案内いたします。プログラムは例年どおり 4 月中旬に全会員に御送り申上げる予定です。

1. 期 日：1961 年 5 月 27（土）、28（日）の両日
2. 場 所：名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）
3. 見学会：5 月 29（月）、30（火）の両日、詳細は 3 月号会告欄に発表の予定

### 第 6 回 水 理 研 究 会 講 演 会 講 演 募 集

第 6 回水理研究発表会を 5 月 26 日（金）（土木学会通常総会の前日）名古屋市において開催いたします。下記の要領により講演お申込みを募ります。

課 題：1. 計測 2. 浮遊または掃流土砂（Sedimentation）

講演申込締切：3 月 10 日 課題、氏名、通信先を明記して土木学会水理委員会あて御申込み下さい。申込みと同時に規定の原稿用紙をお送りします。

講演概要原稿：オフセット印刷とし、規定の原稿用紙（1480 字詰、図表写真をふくむ）4 枚以内とする。超過の場合はその費用を著者負担とする。

原 稿 締 切：1961 年 4 月 20 日 厳守

### 特 別 会 員 各 位 に お 願 い

#### 特別員級別および会費改正について

昭和 36 年度予算の編成にあたり、学会事業の根幹である土木学会誌の印刷諸費の高騰、ならびに予想される郵便料金、交通費など諸物価の値上がりを勘案いたしますと、現行会費をもってしては、土木学会誌の内容充実を計ることはもとより、学会活動に大きな支障をきたすこととなりますので、やむを得ず特別員会費の一部改正を行なわざるを得ない状況にたち至りました。

個人会費は 35 年度に改正いたしましたので、今回は特別員の会費改正を御承諾たまわりたく、まことに御迷惑ながら何卒事情を御賢察の上、貴団体の現等級を少なくとも一階級御昇格いただき、学会事業の円滑なる運営に御協力方お願いいたす次第であります。

なお、機関誌の配付部数も 4 月以降一部改正し合理化いたしたいと存じますので、あわせて御諒承願い上げます。

#### 36 年度以降

級 別		会 費		定期刊行物頒布部数				備 考
				学 会 誌		論 文 集		
現 行	改 正	現 行	改 正	現 行	改 正	現 行	改 正	
特 級	特 級	100 000	100 000	10	10	10	5	
1 級 A	1 級 A	50 000	70 000	10	7	10	3	
1 級 B	1 級 B	30 000	40 000	7	4	7	2	
1 級 C	1 級 C	10 000	20 000	5	2	5	1	
2 級	1 級 D	6 000	10 000	3	1	3	1	
3 級	2 級	4 000	5 000	1	1	1	1	学校関係等に限る

## 土木学会誌広告掲載料改正について

本学会は土木学会誌の内容の充実と改善をはかり、すでに表紙も変更してアート紙を使用し体裁を整えつつありますことは御承知のことと存じます。

つきましては本年1月より印刷および製版代、その他諸物価の値上りにともなう経費の増大ならびに急速に印刷部数が増加しつつあること、および市販部数の急増によって、本年4月より広告料金を下記のとおり改正することになりましたから、何卒御諒承の上—その御協力を御願ひ致します。

### 土木学会誌広告掲載料（昭和36年4月号より実施）

掲 載 箇 所	改 正 料 金
表 紙 2 1 ページ	34 000 円—
" 3 1 ページ	30 000 円—
" 4 1 ページ	40 000 円—
その他のページ 1 ページ	28 000 円
色 紙 1 ページ	38 000 円
綴 込 (印刷物持込み) 1 枚	40 000 円

## 土木工學論文抄録第6集発刊について

本学会は昭和9年にわが国の土木技術に関係のある文献を収録した土木工學論文抄録集を創刊し、昭和14年に第2集、昭和25年に第3集、昭和26年に第4集、昭和30年に第5集を刊行しましたが、今回引続き第6集を発刊する計画をたて、昭和34年3月左金正雄博士を委員長とし48名の委員、幹事を委嘱し、昭和29年1月から昭和33年12月までの5年間にわたる文献およそ10000件を収録したものであります。文献調査ならびに各部門の研究動向を察知するために、きわめて有力な資料と信じますから大いに御活用下さい。なお限定出版につきお早目にお申込み願ひます。

- 内 容：1. 土木一般                    7. コンクリートおよび                    12. 都市計画                    18. ダム  
           2. 応用力学                    鉄筋コンクリート                    13. 港 湾                    19. トンネル  
           3. 土性および土質力学                    8. 溶 接                    14. 海岸工学                    20. 施 工  
           4. 水理学                    9. 橋梁および構造物                    15. 河 川                    21. 水文学  
           5. 測 量                    10. 鉄 道                    16. 発電水力                    22. 土地改良  
           6. 材 料                    11. 道 路                    17. 上下水道                    23. 雑
- 体 裁：A 4判 498 ページ                    定 価：2 500 円 (〒100 円)、会員特価 2 000 円 (〒100 円)

## 塑性設計シンポジウム開催のお知らせ

主 催：日本溶接協会塑性設計研究委員会  
 後 援：土木学会・機械学会・溶接学会・造船協会・日本航空学会  
 期 日：昭和36年3月23日(木) 9.00~16.00  
 会 場：大手前会館(大阪市東区京橋前之町2)

大阪駅より市電(あべの行①番電車)乗車 京阪東口にて下車直すぐ(所要時間約20分)

会費は会員、会員外を問わず無料とし、テキスト代は1部につき300円と致します。ただし会員には1部に限り無料と致します。多数御来聴下さるよう御願ひ申し上げます。

### 講演題目および講師名

9.00~9.30 倉西委員長挨拶並びに総論

#### 塑性設計研究委員会第1分科関係

- 9.30~10.10 船舶並びに容器における塑性設計の応用
- 10.10~10.50 鋼船規則における塑性設計の考察
- 10.50~11.30 塑性設計における座屈の問題
- 11.30~12.10 塑性設計の規格並びに適用例

- |    |            |         |
|----|------------|---------|
| 講師 | 運輸技術研究所構造部 | 秋田好雄部長  |
| 講師 | 日本海事協会研究所  | 渋谷 亨技師  |
| 講師 | 東京大学工学部    | 藤田 謙助教授 |
| 講師 | 三菱造船技術部    | 楠田忠雄技師  |

#### 塑性設計研究委員会第2分科関係

- 13.00~13.40 土木構造物における塑性設計
- 13.40~14.20 骨組のリミットアナリシス
- 14.20~15.00 移動荷重による塑性ヒンジの構成について
- 15.00~15.40 鋼構造部材の座屈後の性状とリミットデザイン

- |    |           |         |
|----|-----------|---------|
| 講師 | 東京大学工学部   | 奥村敏忠助教授 |
| 講師 | 東京大学生産技研  | 田中 尚助教授 |
| 講師 | 大阪市立大学工学部 | 倉田宗章教授  |
| 講師 | 東京大学工学部   | 加藤 勉助教授 |

閉会の辞

## 構造物における高張力鋼およびその活用に関する 研究発表会論文募集要項

共 催：日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会，土木学会，日本建築学会

上記の問題に関する研究発表会を本年 10 月上旬，2 日間にわたり開催いたしますから，多数ご応募下さい。高張力ボルト，プレストレスト コンクリート，ケーブル，2H 鋼，TI 鋼などについていろいろ有益な研究の発表を期待しております。

原稿枚数：学会誌刷上り 4 ページ以内（400 字詰原稿用紙 24 枚以内，図表，写真をふくむ）

原稿締切日：昭和 36 年 6 月末日

論文応募に関する問合せ先ならびに原稿送付先：日本学術会議事務局—橋梁・構造工学研究連絡委員会（東京都台東区上野公園内，電（821）3751），土木学会または日本建築学会

その他：1. 原稿の採否は日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。

2. 研究発表会は東京において 10 月上旬開催の予定です。

## 第 5 回 材料試験連合講演会講演募集要項

共 催：日本学術会議材料試験研究連絡委員会，金属表面技術協会，高分子学会，造船協会，土木学会，日本鉄鋼協会，\*日本化学会，\*日本機械学会，日本金属学会，\*日本建築学会，日本航空学会，日本材料試験協会，\*日本セメント技術協会，日本鉄鋼協会，日本非破壊検査協会，日本木材学会，溶接学会。

日 時：昭和 36 年 9 月 7 日（木），8 日（金）の両日

会 場：東京大学工学部 2 号館

講演申込：1. 参加学会所属の会員は所属学会を通じて申込み，参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申し込むこと。

2. 講演内容はすでに発表されたものでも差し支えないが，最近の研究に属するものが望ましい。
3. 講演時間は約 20 分（討論をふくむ）の予定。
4. 講演の採択などは材料試験連合講演会運営委員会に一任されたい。
5. 申込用紙は B 5 版とし，次の事項を必ず記載すること。

a) 講演題目 b) 梗概約 200 字 c) 講演部門名 d) 講演ならびに連名者の各氏名，勤務先，通信先，学会員資格，年齢（連名の場合には登壇者に○印をつけること） e) 講演題目，氏名，勤務先には英文を付記すること f) スライド使用の有無（大きさは 35 mm） g) 欧文論文集（付記参照）へ投稿希望の有無。

注 第 I 部 金属材料 第 II 部 非金属材料（有機物，無機物） 第 III 部 一般（材料試験機その他）

申込締切：昭和 36 年 5 月 31 日（水）

講演前刷：聴講者のテキストとし，あわせて講演時間の短縮，掛図などの節約のため，講演者全部の講演前刷を作るので，講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ（参加学会会員以外の方は申し込んだ幹事学会へ）提出されたい。

- a) 講演前刷原稿提出期日 6 月 30 日（金）
- b) 前刷原稿は規定の原稿用紙 2 枚以内（図表，写真をふくめて邦文で約 2 600 字）に明瞭に墨書し，なるべく余白を避けるよう留意のこと。
- c) 講演前刷はオフセットになるので写真も入れられる。原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り，所定用紙以外の用紙に書いた原稿は受付けない。

（付 記）欧文論文集について，材料試験連合講演会論文集刊行会よりの御通知

Proceedings of the Fifth Japan Congress on Testing Materials を刊行し，諸外国にも頒布の予定である。

本論文集に掲載される論文は今回発表されたもので，欧文で未発表のものに限る。投稿希望者には材料試験連合講演会論文集刊行会より送られる規定原稿用紙に投稿規定により執筆し，講演会当日会場受付に提出すること（講演会当日以降の提出原稿は受理しない。また，不備な原稿は返却することがある）。

関 西 支 部 行 事 案 内

(1) 講習会「河川堤防における土質工学上の諸問題とその対策」

土質工学会関西支部と共催

- 1) 日 時：昭和 36 年 3 月 30 日 (木), 31 日 (金) の 2 日間 9.00~17.50  
 2) 場 所：大阪合同庁舎 2 階大講堂 大阪市東区大手前之町 (市電, 大手前, または京阪東口下車)  
 電話 (94) 7041

3) 題目と講師：

	時 間	題 目		
3 月 30 日	9.00~10.30	河川堤防のための土質工学	京都大学助教授	工博 松尾新一郎
	10.40~12.10	堤体用土の調査および試験	大阪大学助教授	工博 伊藤富雄
	13.00~14.30	沈下とその対策	大阪市立大学講師	三笠正人
	14.40~16.10	斜面の安定解析と設計	京都大学助教授	工博 赤井治
3 月 31 日	9.00~10.30	斜面侵食、崩壊と対策	神戸大学教授	工博 田中茂
	10.40~12.10	締固めおよび堤体の水理	神戸大学教授	工博 久保田敬一
	13.00~14.30	堤体よりみた河床安定と洗掘	京都大学教授	工博 岩垣雄一
	14.40~16.10	漏水調査および対策	土木研究所千葉支所機械施工部長	工博 福岡正巳
	16.20~17.50	最近の施工上の問題点 質問・討論会	近畿地方建設局河川部長	上田 稔

- 4) 修了証書：希望者には講習会終了後受講証明書をお渡しします。  
 5) 参加費：300 円 (テキスト代をふくむ, テキストは当日参加費と引換えにお渡しします)  
 6) 予定人員：250 名  
 7) 申込方法：参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および受講証明書希望の有無等を明記し, ハガキで 3 月 15 日までに土質工学会関西支部 (大阪市東区大手前之町 合同庁舎近畿地方建設局企画室内) にお申込み下さい。

(2) 海岸工学に関する講習会

(昭和 36 年 3 月 28, 29 日) の 2 日間, 大阪府職員会館, 参加費 300 円) 詳細は 1 月号をご覧ください。

第 7 回 海岸工学講演会講演集 (1960) 頒布について

本書は昨年 11 月 10 日, 11 日, 12 日の 3 日間大阪市において開催された, 第 7 回海岸工学講演会に教材として使用したのですが, 残部がありますので講演会に出席できなかった方々のためにとくにお頒ち致します。御希望の方は直接学会へお申込み下さい。

体裁：B5 判 303 ページ, 写真・図表多数

頒価：800 円 (送料 50 円)

COASTAL ENGINEERING IN JAPAN, VOL. III, (1960) 刊行について

わが国の海岸工学研究の業績を広く海外へ紹介することを目的として標記の英文図書が刊行されました。本文は 9 編よりなり, 口絵写真をはじめ各編に写真・図表を多数使用しており, わかりやすく編集してありますので, 広く海外へ御紹介下さい。また希望者には実費でお頒ち致しておりますので御申込み下さい。

体裁：B5 判 125 ページ, 上質紙使用, 口絵写真 1 ページ, 写真・図表多数

頒価：800 円 (送料 学会負担)

論 文 集 第 72 号・別 冊 案 内

論文集第 72 号・別冊として, 次の 3 編が刊行され, 目下実費で頒布致しております。御希望の方は代金に送料を添えてお申込み下さい。

第 72 号・別冊 (3-1) B 5 判 16 ページ 弾性針金の変形と応用 工博 島田静雄著 定価 100 円 (〒10円)

第 72 号・別冊 (3-2) B 5 判 20 ページ 弾性質量基礎にある構造物の振動解析について 工博 後藤尚男著 定価 120 円 (〒10円)

第 72 号・別冊 (3-3) B 5 判 24 ページ 不完全合成 T 型桁橋の曲げ理論とその応用 山本 稔著 定価 150 円 (〒10円)